

氏名(本籍)	瀧野 勝(高知県)
学位の種類	博士(学術)
学位記番号	甲第242号
学位授与年月日	平成25年9月30日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻
学位論文題目	総合的マネジメントシステム(TMS)の研究 — 中小企業・組織の業績向上・永続性に寄与するTMSの研究 — A study of total management system (TMS) for the Organization “A study about the profitable contribution management system for small and medium-sized enterprises”
論文審査	(主査) 高知工科大学 教授 那須 清吾 高知工科大学 教授 末包 厚喜 高知工科大学 教授 富澤 治 高知工科大学 教授 渡邊 法美 高知工科大学 准教授 桂 信太郎

## 審査結果の要旨

### 1.論文の評価

本研究は、国際的な企業等の経営に関わる標準であるISOシリーズに対して、デミングによる統計的品質管理に始まる日本的な品質管理手法や経営手法がある中で、これらのシステムを如何に活用すればよいのか、特に中小企業を指導する上では大きな課題となっている。多くの中小企業は、ISOシリーズを導入したものの、その効果に疑問を持ち或いは維持する為の経費に無駄を漠然と感じ、撤退するトレンドが生まれつつある。一方で、ISOシリーズだけでは不十分であるとの指摘もあり、日本的経営手法がこれを補っているという指摘もある。

本研究は、中小企業にとって望ましい経営システムの在り方を提示すべく、中小企業の実態を調査するとともに、ISO、日本的経営手法、中小企業経営者のニーズの三者間の関係性を分析した。経営全体の中で、経営者の俯瞰的能力なども考慮に入れた場合、それぞれの機能の必要性、代替性、補完性について確認するとともに、経営者が求めている機能および結果を満足する新たな中小企業のためのトータルマネジメントシステム(TMS)の構築を行ったものである。

日本的経営では対応できない経営機能でISOが補完しているもの、ISOが補完しているが規定どおりの内容では中小企業にとってはオーバースペックであるもの、経営者の俯瞰的能力でしか機能が期待できないものなど、経営の各機能毎に分類し、その内容を設定した。

本研究を実施するにあたっては、研究者本人の過去の経営の実践的事例を分析するとともに、多様な過去の中小企業経営相談の情報、また、新たに経営者に行ったインタビューによりその内容を検証するとともに、妥当性を確認している。

本研究が、今後の中小企業経営の効率的な機能発揮に貢献することは大いに期待されるし、その為の本研究の実践的具体化が待たれる。

## 2.審査の経過と結果

- (1) 平成25年7月10日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成25年8月22日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成25年9月 4日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。